



K120.73

42

7

尋常小學唱歌

第三學年上

東京高等師範學校教授 佐々木吉三郎
學習院教授 納所辨次郎 共編
東京高等師範學校教諭 田村虎藏



發行所

株式會社國定教科書共同販賣所

緒 言

本書は、現今、尋常小學校の唱歌教授に、適切なる教材を供給せんとて、編纂したるものなり。而して、其教材は尋常科第一學年より、同第四學年止至るまで、各學年各學期に配當したれば、順次編を逐ひて、教科用書に充て得べきものとす。編纂の際、特に注意せる諸點を擧げねば、左の如し。

一、題目、修身・國語の國定教科書に係を有する事項、兒童の

實際生活に親しき事項等に取り以て、各教科の統一を圖

り、兒童の心理的要要求に適應せしめんと力めたり。

一、歌詞、初學年には、多年、小學教育に經驗を有する人の手に
なれるものにつき、平易にして理解し易く、而も詩的興味

を失はざるものを見び、漸く進みては、當代名家の作を加へ、以て、純正なる思想感情の養成に資せんとせり。

一、曲節、編者多年の研究に鑑みて、児童發達の程度を精察し、音程・音域の如何を審査し、初は、快活にして勇壯なるものより、漸次に、優雅にして醇美なるものに進め、以て、審美的感情を育成せんことを期せり。

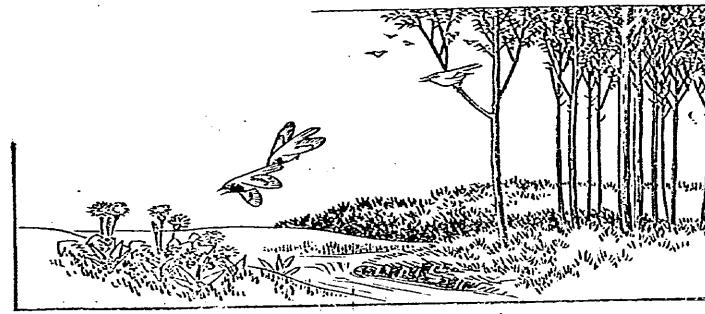
以上の外、音樂上並に教授上の詳細なる注意等に至りては、不日公けにすべき、教授用書に詳説すべし。

明治三十八年五月廿八日

編 者 識

目 次

一 春の野	二
二 金剛石	四
三 森の樂隊	六
四 水	八
五 谷村評介	一〇
六 夕立	一一
七 田植	一三
八 二宮金次郎	一六
九 汽車・汽船	一八
十 雲雀	二〇



春の野
田邊氏

水 ちよろ ちよろ、 水が 野原を 春にした。
草木も 春は、 うれしい か、
草は あを あを、 木には 花
かぜ ひばりは 高く、 そらに まひ、
水 ちよろ
小鳥も 春は、 うたふ、 もりの なか。
かぜ ひばりは 高く、 そらに まひ、
かぜが 野原を 春にした。
かぜが 野原を 春にした。

春の野

(に調二拍子)

谷 美二

田村氏

春の野

5 3 | 4 3 2 1 | 2 1 2 | 3. 2 3 4 | 5. 5 6 1 | 5. 9 |
 1. ミヅ チヨロ チヨロ ミヅガ ノハラチ ハルニシタ
 2. カセ ソヨソヨ カセガ ノハラチ ハルニシタ

1. 1 7 6 | 5 5 3 | 6. 5 | 6 1 | 5. 0 | 6 5 5 | 4 3 2 1 |
 クサキモ ハルハ ウレシイ カ クサハ アナアチ
 コトキモ ハルハ ウレシイ カ ヒバリハ ターカク

2. 2 1 2 | 3. 0 | 5. 5 6 5 | 3 3 5 | 2. 1 3 2 | 1. 0 |
 キニハ ナ タンガボ スミレ サキニホ フ
 ソラニマヒ ウケヒス ウタフ モリノナ カ

5 3 | 4 3 2 1 | 2 1 2 | 3. 2 3 4 | 5. 5 6 5 | 1. 0 ||
 ミヅ チヨロ チヨロ ミヅガ ノハラチ ハルニシタ
 カセ ソヨソヨ カセガ ノハラチ ハルニシタ

金剛石

(は調四拍子)

金剛石

温和ニ

奥氏

1 1 1 3 | 2-2 1 | 2 2 3 3 | 5-0 | 6-6 5 | 1 1 6 6 |

コンゴー セキモ ミガカズ バ ターマノ ヒカリハ

5 5 5 3 | 2-0 | 1-1 1 | 2 2 5 5 | 3 3 5 5 | 6-0 |

ソハザラン ヒートモ マナビテ ノチニコソ

i i 2 2 | 6-5 5 | 6 6 6 2 | i-0 | i i i i | 2-i 6 |

マコトノトーグハ アラハルレ トケイノ ハーリノ

5 5 3 1 | 2-0 | 3 3 2 1 | 3-5 5 | 6 6 6 1 | 5-0 |

タエマナク メケルガ ゴートク トキノマノ

i-i i | 6 6 5 5 | 3 3 2 3 | 5-0 |

セカダチシミテハグミナバ

金剛石

(つづき)

2 2 2 1 | 6-5 3 | 2 2 3 2 | 1-0 |

イカナルワザカナラザラン

皇后陛下御製

こんごーゼきも、みがかずば、
たまのひかりは、そはざらん、
人もまなびて、のちにこそ、
まことのとくは、あらはるれ、
とけいのはりの、たえまなく、
めぐるがことく、ときのまの、
日かけをみて、はげみなば、
いかなるわざか、ならざらん。』

こんごーゼき

四

森の樂隊

六

森の樂隊

(ヘ調二拍子)

快活ニ 田村氏

森の樂隊 (ヘ調二拍子) 田村氏

快活ニ

1. カスミナギサキガニテニ
2. ミタタアビセナヒニモバク
3. ハルモソドロカヘナヌシモバク
4. ヒヨシモチノソラノゴクガザキモジードラマ
5. ヤモガリラノラコクガザキモジードラマ
6. ハーナモシクガラシモジードラマ
7. ハーナモシクガラシモジードラマ
8. ハーナモシクガラシモジードラマ

森のがくたい 石原氏

一、かすみたなびき、花さて、
春も のどかになりぬれば、
山がら、小がら、四十から、
ひわに目白に、うぐひす、ひばり、
ピーピー、カラカラカラカラ、
コロコロコロコロ、コロコロコロコロ、
チーチク、チーチク、ヒヨロヒヨロ、ホーホケキョ。

二、ちょーしをあはせて、にぎやかに、
ひょーしをそろへて、おもしろく、
森の草木もをどるまで、
野山の花もまひだすまでに、
ピーピー、カラカラカラカラ、
コロコロコロコロ、コロコロコロコロ、
チーチク、チーチク、ヒヨロヒヨロ、ホーホケキョ。』

森のがくたい



七



水

一、つゆは つもりて、水となり、
水は ながれて、川となる、
ぐんかん すすむる、大よ一も、
ただ 川水の、あつまりぞ。』

二、空に のぼりて、くもとなり、
地に また おちて、雨となる、
草木をそだてて、うつくしき、
花をさかすも、水のとく。

三、かぜなき 夏の、日ざかりに、
木かげすずしく、はしりくる、
なきもふかし、水のこゑ。』

水
大和田氏

水

(へ調二拍子)

水

軽快ニ 納所氏

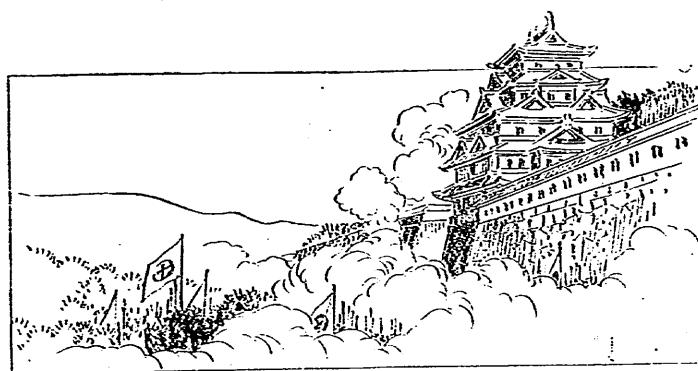
2/4 拍子

3. 2. 1 | 6. 1. 6. 5 | 2. 1. 2. 3 | 2. 0 |
1. ヴ ハニキ ツモリツ テテノ ミクヒ ブモザ ナナリ
2. ソ ノナ ノガーツ ノモザ ナナリ
3. カセ ナキ ナカチト ナカチト ナカチト ナカチト ナカチト

3. 3. 5. 5 | 3. 2. 1. 1 | 2. 3. 2. 1 | 1. 0 |
ミチニ ヴハタク ナオヒ レテチ ナアヒ ハメケ ナナメ
チミ マユ ナカチト ナカチト ナカチト ナカチト ナカチト

5. 5. 3. 5 | 5. 6. 5. 3 | 2. 1. 2. 3 | 2. 0 |
ケクコ サンチャ カキカ ソスグズ ムテシ ルテク イツシ ヨクリ
ンサ カカタ シテク ダウハ モキル

3. 3. 2. 1 | 6. 1. 5 | 2. 3. 2. 1 | 1. 0 |
タハナ ダーサ フカネケ ハナモ ミサフ ブカカ ノモシ ノモシ
クエ



谷村計介

(と調二拍子)

田村氏

活潑ニ

谷村計介 (と調二拍子) 田村氏

1. 5. 5. 5. ト
2. クゴタタマタ
3. チマタタ
4. バビ

5. 3. 1. 3. ハムニヘ
6. 6. 1. 7. ナニクラ
7. ジョダント
8. ハムニヘ

2. 2. 2. ケスヘタ
9. 2. 2. ケトラ
10. 2. 2. ケトラ
11. 2. 2. ケトラ

3. 2. 2. ケスヘタ
12. 2. 2. ケスヘタ
13. 2. 2. ケスヘタ
14. 2. 2. ケスヘタ

4. 0. ノハレモ
5. 0. ノハレモ
6. 0. ノハレモ
7. 0. ノハレモ

5. 0. ノハレモ
6. 0. ノハレモ
7. 0. ノハレモ
8. 0. ノハレモ

9. 0. ノハレモ
10. 0. ノハレモ
11. 0. ノハレモ
12. 0. ノハレモ

13. 0. ノハレモ
14. 0. ノハレモ
15. 0. ノハレモ
16. 0. ノハレモ

17. 0. ノハレモ
18. 0. ノハレモ
19. 0. ノハレモ
20. 0. ノハレモ

21. 0. ノハレモ
22. 0. ノハレモ
23. 0. ノハレモ
24. 0. ノハレモ

25. 0. ノハレモ
26. 0. ノハレモ
27. 0. ノハレモ
28. 0. ノハレモ

29. 0. ノハレモ
30. 0. ノハレモ
31. 0. ノハレモ
32. 0. ノハレモ

33. 0. ノハレモ
34. 0. ノハレモ
35. 0. ノハレモ
36. 0. ノハレモ

37. 0. ノハレモ
38. 0. ノハレモ
39. 0. ノハレモ
40. 0. ノハレモ

41. 0. ノハレモ
42. 0. ノハレモ
43. 0. ノハレモ
44. 0. ノハレモ

45. 0. ノハレモ
46. 0. ノハレモ
47. 0. ノハレモ
48. 0. ノハレモ

49. 0. ノハレモ
50. 0. ノハレモ
51. 0. ノハレモ
52. 0. ノハレモ

53. 0. ノハレモ
54. 0. ノハレモ
55. 0. ノハレモ
56. 0. ノハレモ

57. 0. ノハレモ
58. 0. ノハレモ
59. 0. ノハレモ
60. 0. ノハレモ

61. 0. ノハレモ
62. 0. ノハレモ
63. 0. ノハレモ
64. 0. ノハレモ

65. 0. ノハレモ
66. 0. ノハレモ
67. 0. ノハレモ
68. 0. ノハレモ

69. 0. ノハレモ
70. 0. ノハレモ
71. 0. ノハレモ
72. 0. ノハレモ

73. 0. ノハレモ
74. 0. ノハレモ
75. 0. ノハレモ
76. 0. ノハレモ

77. 0. ノハレモ
78. 0. ノハレモ
79. 0. ノハレモ
80. 0. ノハレモ

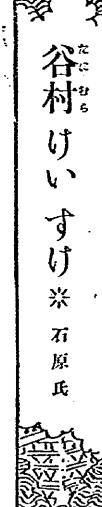
81. 0. ノハレモ
82. 0. ノハレモ
83. 0. ノハレモ
84. 0. ノハレモ

85. 0. ノハレモ
86. 0. ノハレモ
87. 0. ノハレモ
88. 0. ノハレモ

89. 0. ノハレモ
90. 0. ノハレモ
91. 0. ノハレモ
92. 0. ノハレモ

93. 0. ノハレモ
94. 0. ノハレモ
95. 0. ノハレモ
96. 0. ノハレモ

97. 0. ノハレモ
98. 0. ノハレモ
99. 0. ノハレモ
100. 0. ノハレモ



一、熊本じょーは、ぞくぐんの、
かこみをうけぬ、と重へはたへ。
このおもむきを、本えいに、
つたふる人は、あらざるか。

二、ごちょー、谷村けいすけは、
きつとかくごの、むねをすゑ、
谷しょーくんの、めいをうけ、
ひそかにしろを、ぬけだしぬ。

三、たまたまぞくに、とらへられ、
きびしきせめに、あひたれど、

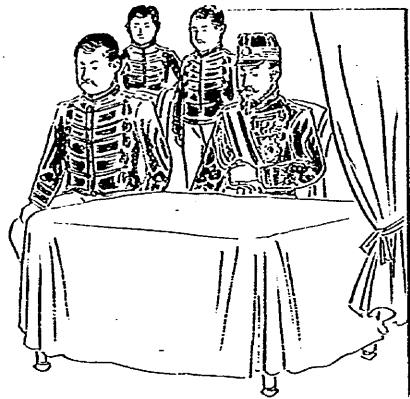
まもりの兵の、目をかすめ、
けいすけわざと、なきさけび、

おくびよーものと、見せかけて、
人にんぶのうちに、つかはれぬ。』

なは、ひきちぎって、のがれたり。』

四、ふたたびとらへられたるも、

五、またもたくみに、のがれいで、
たかせといへる、ところなる、
だい一りょだんに、たっしえて、
大事のつかひを、はたしけり。』



六、この時、けいすけ、うれしさに、
ことばもきよーに、はじめしに、
りょだんちょーをば、はじめとし、
かんせぬものぞ、なかりける。』

雲雀

(ヘ調二拍子)

浦美氏

愉快ニ

2/4 | 5. | 1. 3 | 2. 1 2 3 | 5 6 5 3. 1 | 2. |
 ハルノヒロノノタダーナカニ
 モニイルカトミシーマテニ

5. | 1. 3 | 2. 1 2 3 | 5 3 2. 3 | 1. 0 |
 タカクソビユルヒトツマツ
 ラニサヘブルソノウタノ

5 6 5 3 2 1 | 2 1 2 3 | 5 6 5 1 2 3 | 2. 0 : |
 ソノーマツーカゲーチトピータチーテル
 ソレーヨリータカーリマヒーアガーリ
 ヤーガテーキコーエズナリーシトーリ
 イリーヒトートモーニマヒーサガーリ

5. 5 3 1 | 6 5 | 3 2 1 | 3. 3 2 1 | 2 3 4 5 5 | 1. ||
 アレアレ アレアレハヒバリヨアグーヒバリ
 ユフーヒバリ

ひばり

巖谷氏



一、春のひろ野の、ただなかに、高くそびゆる、一つ松、

その松かげを、とびたちて、

それより高く、まひあがる、

アレアレアレ、あれはひばりよ、あげひばり。

二、くもにいるかと見るまでに、

空にさへづる、そのうたの、

やがてきこえず、なりしどき、いり日とともに、まひさがる、

アレアレアレ、あれはひばりよ、夕ひばり。

三、麥のはだけの、あをあをと、しけるあひだに、すをつくり、

いとし、ひなどり、そだてんと、日ごとにいでて、ゑをあさる、

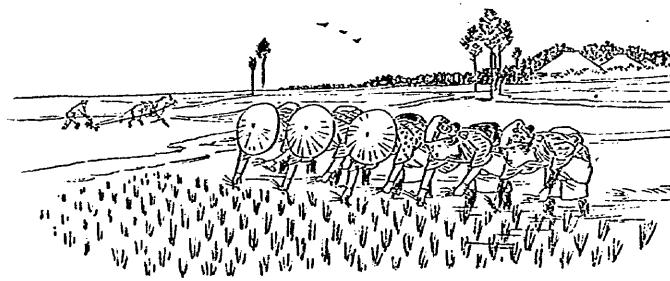
アレアレアレ、あれはひばりよ、おやひばり。』

ひばり

一五

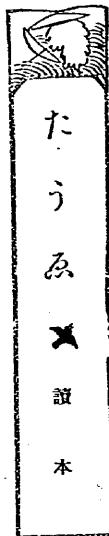
天氣もつづけ。雨もふれ。
たうゑ

一七



「いまは、いそがし、たうゑどき。
ここでは、馬に田をすかせ、
そこでは、苗を、田に、うゑる。
すかせる。うゑる。いそがしや。
だから、たびたび、田草とり。
どうぞ、あきまで、つごーよく、
しだいに、てかずが、ふえていく。
二

「いまは、いそがし、たうゑどき。



たうゑ 読本

田植

(に調二拍子)

納所氏

田植

一六

稍早ク

1. イーマハ イソガシタウエドキリ
2. コレカラタビタビタクサト

1. 0

1. ココデハウマニータチスカセ
2. シダイニテカヅガフエティ

1. 0

1. リコデハナヘチータニウエル
ドウグー アキマデツゴーヨ

1. 0

1. スカセルウエルイソガシヤレ
テシキモツブクアメモツ

1. 0

二宮金次郎

(と調四調子)

内田氏

温 和 ニ

1. 1 3. 3 2. 2 1- 6. 6 1. 1 5- 0 |
 1. タトコフジカニキソニオニカタモナクフレリモツ
 2. フトコテヌニエカタミツ
 3. ナタスルタネー

5 5 5 3 3 3 4 4 4 2 2 2 1. 5 3' 2 2- 0 |
 オモキツチチカラクフルフルラシブントンメ
 サラゲツクリヒトニオクルドテノツ
 アプラモトメフミチテラスソ

5 5 5 3 3 3 4 4 4 2 2 2 1. 5 3' 2 1- 0 |
 オモキナタモカラクアガルタキギニトリコセ
 ヒトハヤスミソレハツトムジユノシュウ
 イヘラオコシナチモアゲシソノ

5. 5 1. 1 6. 6 5- 5. 5 2. 3 1- 0 |
 マカカコシンコタナニクンコタヒハーハキチーノロニモグ
 テテ

一宮金次郎 田邊氏

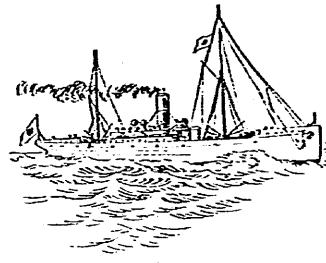


「たふとき おやを、おもふにぞ、
 重き つちを、かろくふるふ、
 重き なたも、かろくあがる、
 まことに、こーは、とくのものと。」

二、年こそ ゆかぬ、身なれども、
 わらちつくり、人におくる、
 人は 休み、われは つとむ、
 かしこく、高き、こころだて。」

三、小うでになたね、つくりつつ、
 あぶらもとめ、ふみをてらす、
 家を おこし、名をもあげし、
 その しづけ世せ。

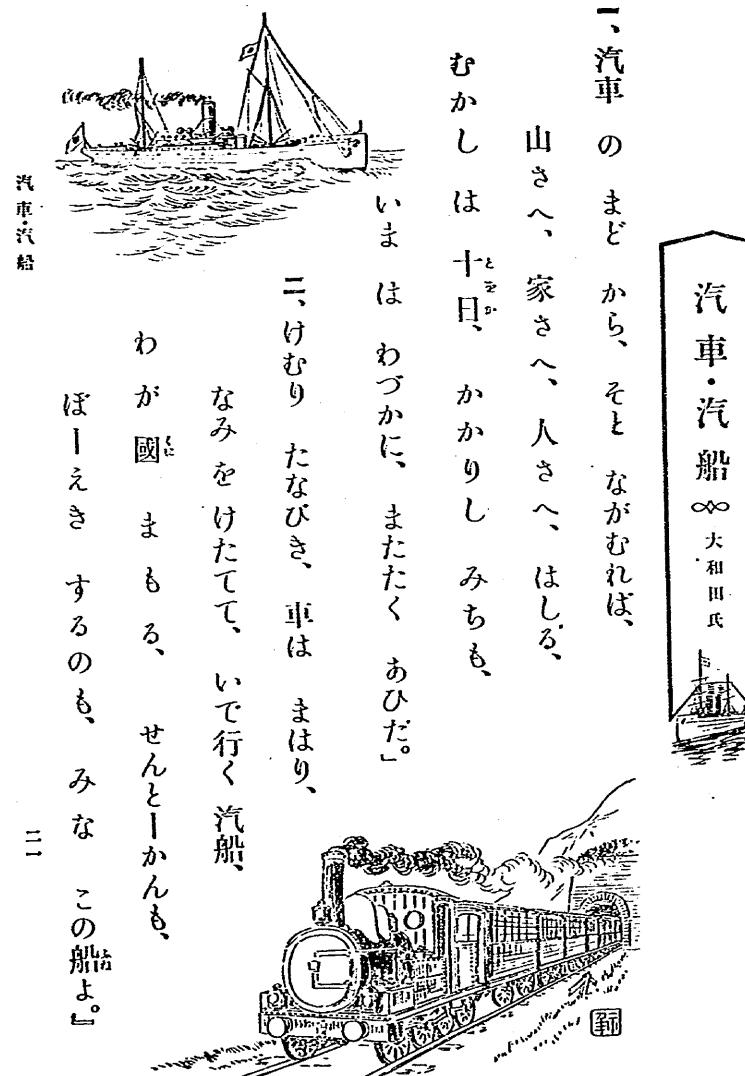
かんなん 人を、玉にして。



汽車・汽船

(へ調二拍子)

田村氏



タ立

111

タ立

(變る調二拍子)

納所氏



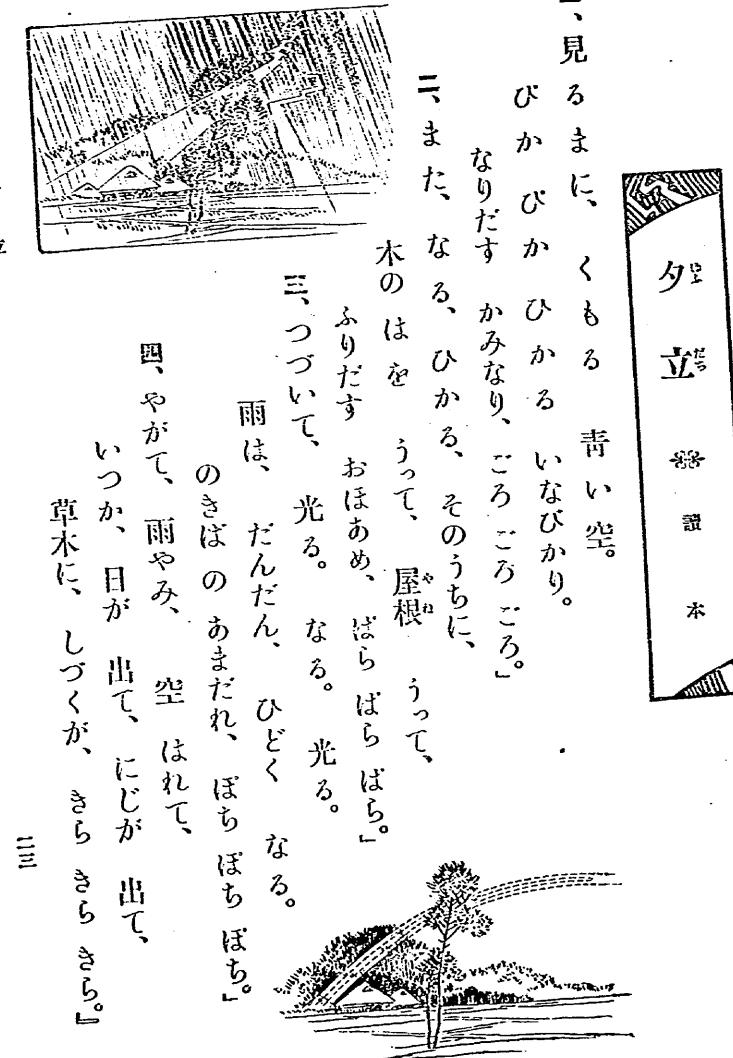
1. ミマツナ
2. ルタブ
3. ナイカ
4. ヒビヒア



1. ヒキア
2. カノー^一
3. ハメツ
4. ピハメツ



1. ナリキサ
2. ノク
3. フリキサ
4. リキサ





明治三十八年十二月二十七日印
明治三十九年九月三十日發行
明治三十九年九月二十七日訂正再版印刷
明治三十九年九月三十日訂正再版發行

尋常小學唱歌第三學年上

定價金拾錢

著作者 佐々木吉三郎

同 納所辨次郎

田村虎藏

大橋新太郎

野村宗十郎

不著作許
複製所

發行者 東京市日本橋區新右衛門町十六番地

株式會社國定教科書共同販賣所

東京市京橋區築地三丁目十一番地

大橋新太郎

代表者 東京市京橋區築地二丁目十七番地

株式會社東京築地活版製造所

印刷者 東京市日本橋區新右衛門町拾六番地

印刷所 東京市日本橋區新右衛門町拾六番地

發行所 株式會社國定教科書共同販賣所

東京市日本橋區新右衛門町拾六番地

